

## 保護司として多くの子供たちと深く関わってきた中澤様が感じる、 今だからこそ、子供たちに必要なコミュニケーションとは

### 中澤照子様 ご紹介

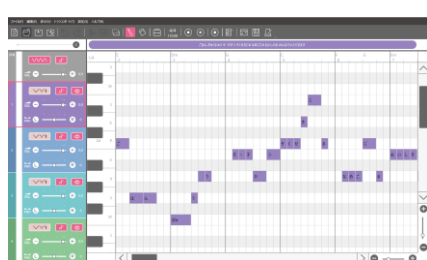
1941年東京都生まれ、保護司として20年間活動、延べ120人を担当。  
保護司退任後もCafelalaオーナー、YouTubeチャンネル開設と活躍中。  
2018年には藍綬褒章を受章。  
多くの人が感動した「更生カレー」で今も世の中に元気を届けている。

「更生カレー」の最新情報はこちら  
<https://terasuko.base.shop/>

※保護司とは  
保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える民間のボランティアです。  
保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員とされていますが、給与は支給されません。



中澤様は、1998年から2018年までの20年間、東京都江東区で保護司として120名以上の方々とは向き合ってきました。その7割が犯罪や非行をした青少年少女たちです。  
一人ひとり置かれている家庭環境や性格、犯した罪の内容、困りごとは全く異なりますが、そんな子供たちと繋がり見守ってきた中澤様に、コミュニケーションツールとしてのボークロイド教育版の可能性についてヒントを得られないかと、お話しする機会を頂きました。



ヤマハボークロイド教育版とは  
歌声合成ソフト「VOCALOID™」を学校教育用に最適化した、ソフトウェアです。  
楽譜が読めなくても直感的に、そして試行錯誤しながら楽しく「音楽づくり（創作）」を学習することができます。  
「音楽づくり（創作）学習」の活動を通じて、「論理的な思考」や「意見の集約を図る力」、「表現する力」など様々なスキルが自然と育まれ、子どもたち同士で示しながら議論しやすく意見交流がより活発になり、主体的・対話的で深い学びを実現します。

「誰でも参加出来る音楽の楽しさを伝えることで学校生活に彩を持たせたい」という気持ちをお伝えして、中澤さんの経験上、「音楽があれば学校を楽しめたといったような児童生徒はいないだろうか」また、「音楽によって自身の存在がアピールできたといったような児童生徒はいないだろうか」ということについてお話をさせていただきました。

### 自主的な関わりをサポートするツールとして

**学校というのは集団で過ごす場であって、その中で少しわかれば参加する子供が増えるというのは納得ですね、わかれば参加出来る。あることが、わかったという安心感が大事ですね。音楽で声を出す授業、合唱コンクール等、学校生活の思い出を彩る手助けになればと思っています。**



### 身近に感じるからこそその興味

**今の子はタブレットを持ち帰るっていうから、予習復習、興味あれば色々これをいじれるんですね。自主的に向かおうとする時に身近にあるのは心強いですね。気持ちさえあれば音楽の間口は広いんだよ、と伝えていきたいです。**

### きっかけが間口を広げる

**「更生カレー」なんてみんな呼んでくれますが、きっかけはある子供がお腹すかせていたから、たまたまその日に出したのがカレーだったの。それが口コミで彼らの間に広がって、それこそ絶え間なく集まってきた。何かのきっかけさえあれば、興味を持って直ぐに広がるのも子供たちなんですよ。**

人柄もあるとは思いますが、私たちもきっかけづくりを音楽を通して提供出来たらと思っています。

### 取り組んだ上で楽しんでほしい

**こういった電氣的な音というのは賛否が分かれるかもしれませんが、どうしても受け付けられない年代とか、そういった意見もあるかもしれないけど、今の子どもたちは受け入れられるんだと思います。ここを入口として、色々な音楽に触れて行って欲しいですね。**

音楽の発信方法が多様化している中、まずは知ってもらい、楽しんでもらう、それこそが私たちの目標です。

音楽をつくるためには様々な知識や技能が必要となります。  
ボークロイド教育版がそれらの知識や技能をサポートすることで、楽しく学習活動を行うことができます。  
誰でも簡単に音楽がつけられることで、学習活動をより深め意欲的に学習へ参加することができると考えています。  
また作品を様々な形で発表することで、コミュニケーションが広がり豊かな学校生活へと発展することを願っています。

ヤマハをはじめとするさまざまなメーカーを取りまとめ、全体の方向性を示すコンサルティングの役割を担っているのが株式会社高文です。

株式会社高文の事業開発部本部長である高橋芳徳様に、ボークロイド教育版の提案について伺いました。



※株式会社高文の事業開発部本部長である高橋芳徳様

### 安心感から始まるソリューションでありたい

私が本部長を務める事業開発部は、ソリューション営業のチームと技術部門、商品開発部門が揃っているため、導入後の技術的支援も含め、お客様に寄り添った提案が可能です。お客様の抱えている課題に対して解決策を示すことがソリューション営業であり、学校現場が抱える課題へも提案をしております。

### 誰もが参加出来るコンテンツでワクワク感を創出したい

弊社の企業理念の中に「お客様に安心感、信頼感、期待感そして楽しさを提供できる、新しい専門商社を目指す」というフレーズがあります。音楽という誰もが参加しやすいコンテンツにおいても、何かワクワクして期待出来る提案が出来たらと考えております。

**企業理念**

社是「創」  
- 創ることを最大の喜びとしよう -

お客様に安心感、信頼感、期待感そして楽しさを提供できる、新しい専門商社を目指す為、ネットワークのシステム提案、機材販売、技術支援のできる会社づくりを目指します。

株式会社高文の理念（下記QRのHPより引用）  
<https://takabun.co.jp/company/message/>